



見る  
聞く  
さがす  
夢がある

日立市民の  
生涯学習

# 百年塾ひろば

第31号 発行日/1996.12.5  
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部  
編集/百年塾 広報部会  
事務局/生涯学習課 ☎0294-22-3111  
〒317 日立市助川町1-1

百年塾フェスタ'96

## みんなで創った出あい

～見て、聞いて、参加して～

10月19日・20日の2日間、シビックセンター5階およびパティオモール三角広場を中心に「出あいを創るまち」—こんにちは出あいをつくろう—をテーマに「百年塾フェスタ'96」が行なわれました。

今年は大好き いばらき 県民まつりの市内外からの参加者にも百年塾を知ってもらおう機会にしようとPRに力を入れました。

出あいの休憩所が設けられ、ボランティアが活躍するというテーマにふさわしいフェスタとなりました。参加者と一緒に楽しめる市民教授の実演や発表、手話や着付けの講座、指定幼稚園・学校の活動紹介、市民手づくり広報紙の展示、イラストコーナーなどもあり、たくさんの家族連れでにぎわいました。

今年もネパールに学校を贈ろうとビッグハートづくりが行なわれ、皆さんから172,830円の善意が集まりました。



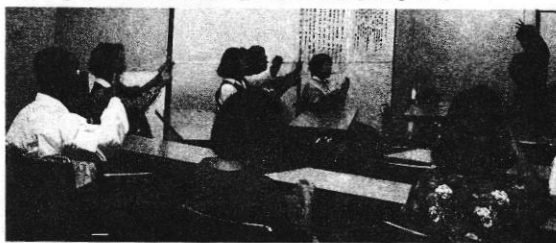
ろくろもだんじりょうずに戻せるようになって



えいっ、やーっ、みことな筆さほき

### 百年塾ボランティア

椎名 澄江さん(みかの原町)  
外に出る良い機会でした。会場を案内するくらいでお役に立てればと思います。今後もマイペースで百年塾にかかわりたいと思います。



手話でうたいましょう



若いエネルギーがはじけて



私たちも応援にきました



イラストコーナー



私は歩く広告塔



共催の県民まつりにもぎやかにオープン。  
橋本県知事や飯山市長の顔も



ありがとう!ビッグハートへ172,830円

### 会場でひとこと

- ・趣味を生かし楽しく活動する人たちの姿に感動。私も何かしなくちゃ。
- ・親子で手話体験をした。福祉に眼を向けられる良い企画だと思う。
- ・若者の発表の場が少ないのでは。
- ・ステージの上と見ている人とが一緒になれるような企画がほしい。
- ・何も手伝えない自分が情けない。

# 野菜博士 モテモテ

— 諏訪小 生活科授業に地域の講師 —

今年度、新規百年塾指定校である諏訪小学校では、2年生の生活科の学習に「1人1野菜の栽培」を計画しました。この栽培の指導に地域の野菜づくりに詳しい人を「野菜博士」として、講師に迎えました。

講師探しには、PTAや諏訪コミュニティセンターの人たちが手伝うなど、日ごろの地域の諸団体との連携のよさを十分発揮しました。



↑ 子どもたちに苗の植え方をやさしく → 指導する野菜博士の朝日さんと川和さん

屋さん、ポップコーン屋さん、ゲームコーナーなどで楽しんでいました。

## 野菜で子どもと交流

この「野菜博士」は朝日さんと川和さん。1人では心細いので2人で引き受けました。授業で指



## あまくておいしい

子どもたちが自分の好きな思い思いの野菜を選び、「野菜博士」の指導で5月に植え付け、管理の指導を受けました。

ミニトマト、ナス、ピーマン、トウモロコシや稲を植えた子どももいました。6月にはさつま芋も植えました。学校で育てたり持ち帰ったり

子どもたちは大切に育てました。とても甘くてお店で売っているのよりず〜っとおいしかった。たくさん採れてうれしかった。など、子どもたちの喜びの声が聞かれました。

11月1日には1年生も招待して収穫祭が行われました。さつま芋

# ここにもこんなふれあい

## お針教室

ボタン付けやズボンの裾上げをしようずしてみませんか—そんな呼びかけで9月27日、多賀公民館でお針教室が開かれました。参加者の中には男性の姿も見られ、講師の塩田正子さん(市民教授)の指導に真剣な表情で針を動かしていました。また、意外に年配の女性の参加が多く針を持つ手も慣れたもの。「針仕

事は一通りできるけれど、基本をきちんと学ぶことでよりきれいに仕上げられる」「おしゃべりしながら手を動かす雰囲気楽しくて」など応募の理由や教室の楽しみ方もいろいろです。「靴下ひとつでも繕って大切にした昔を思い出します。」と、奥様の針箱を下げて帰る男性の姿がほえましく印象的でした。

## 歴史講座

9月14日、石名坂地域公民館で歴史講座が開かれました。この講座は自分たちの住む地域のさまざまな歴史をもっと知ろうと、9回シリーズで行われています。7回目にあたる今回は黒澤俊さん(市民教授)を講師に「ふるさとの民間信仰」がテーマです。地域のそちこちに付けられた地名には、天神・弁天などをはじめ人びとの信仰にかかわるものが多く、



一針一針こころをこめて

地名が土地の歴史を伝える貴重な文化であることなどを学びました。

参加者には地元会のメンバーなど地域の歴史に関心の深い人も多く、説明にうなずきながら熱心に聞き入っていました。

ふるさとの歴史を知ることで、ふだん何げなく見聞きしている景色や



この地域にはどんな歴史があるのか、地名の一つ一つがいに感じられる、そんな思いにさせられたひとときでした。

## 講座案内

- ★すずらん社交ダンス会
  - ・日時 毎週水曜日 18時~19時
  - ・場所 東多賀・河原子コミュニティセンター
  - ・会費 月1,500円
  - ・対象 男女各10人
  - ・連絡 関根 ☎ 32-2167 (午後6時以降)
- ★カトレア会(カラオケ)
  - ・日時 毎週金曜日 19時~3時30分
  - ・場所 油縄子コミュニティセンター
  - ・会費 無料
  - ・対象 男女各5人(先着順)
  - ・連絡 北沢みどり ☎ 37-0939
- ★すみれ会(社交ダンス)
  - ・日時 毎週金曜日 19時~3時
  - ・場所 多賀公民館
  - ・会費 月1,000円
  - ・対象 男女各10人
  - ・連絡 相田 ☎ 37-2984 (午後6時以降)

導する以外に、野菜などがどうなったか心配で頻りに学校へ見に行きました。

学校以外で子どもたちに「やさしい



「おーい、買いにおいでよ〜の先生」と、声をかけられうれしくなります。教えることは学ぶことです。子どもたちとの交流を通じて自分の世界が広がりました。と、2人は話してくれました。

## 初の会館ボランティア

郷土博物館で、7月20日~9月1日まで行われた特別展示「世界の時計展」に、初めて会館ボランティアが導入されました。新しい試みということで、百年塾推進委員会を中心にボランティアを募集したところ、14名が応募しました。事前の研修では、それぞれの時計の特性に関することや、館内の案内が行われました。期待と不安を抱えてのスタートでしたが、来館者からは、説明をしてもらえてよく分かったなどのうれしい感想を聞くことができました。ボランティアたちは、何よりも自分が勉強になった、人の役に立ててうれしいなどの声があり、博物館の役割なども理解するよい機会になったようです。展示の内容がその都度変わることでも難しさはあるようですが、今回の試みをヒントに今後もこのボランティア制度を継続してほしいものです。

## 市民教授

- あの人この人
  - 96.9月~96.10月 開催された方(敬称略)
- 李 祉永(イ・ジョン) 東金沢町(韓国料理)
- 飯沼 達子 山田町(ドライブラワー・木の実のリース・水泳指導)
- 内田 美智子 小水津町(華道)
- 栗田 武男 助川町(紙漉き・再生紙づくり)
- 小池 佳香 諏訪町(英会話・児童英語・スペイン語[初歩]幼児教育)
- 佐藤 隆昭 田尻町(ハーモニカ)
- 佐藤 ルミ 高鈴町(手話)
- 清水 透 かみあい町(サッカー・スポーツシュールの研究)
- 鈴木 久米男 千石町(カヌー)
- 高橋 喜与子 相田町(パッチワーク)
- 武村 種 田尻町(聖書講義)
- 田崎 智子 滑川本町(手話)
- 西幾多 石名坂町(連句) お問合せは百年塾サロンまで ☎ 24-7744

## いま、宇宙は!

11月9日、宇宙開発事業団筑波宇宙センター所長菊山紀彦氏を講師に迎え、百年塾講演会が行われました。スライドを見ながら宇宙開発の歴史、現状の科学的な話は素人にも分かり易く、さらに宇宙食、宇宙船のトイレ、シャワーの話題などとても楽しい話でした。21世紀の初めには宇宙旅行が一般的になり、21世紀末、火星に都市ができ、22世紀の半ばには宇宙空間のスペースコロニーに人間が住むようになるだろうとのこと。それには、現

在危機的状況にある地球の大気をこれ以上壊さないよう守らなければならない。地球を覆うわずか16



楽しく聞きました

キロの薄い大気、生命の存続できる世界はわずかにこれだけしかないことを再認識し、身近な環境についても深く考えさせられました。